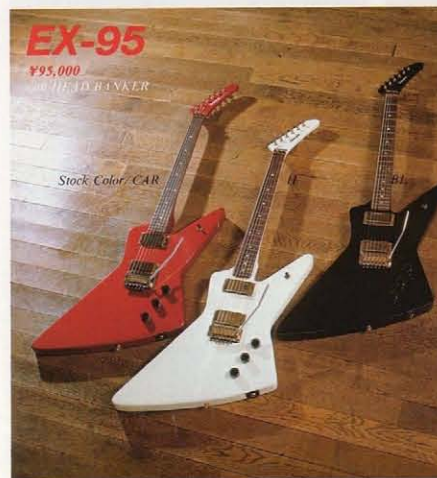
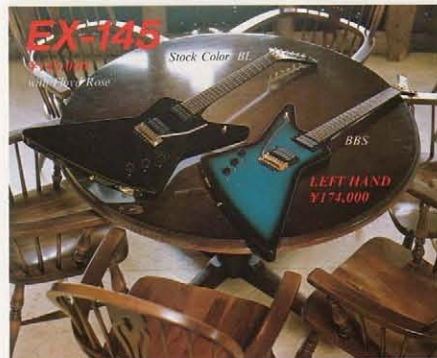


THE LIMITED SERIES



EX-145

フライングと同じ直線を基本ラインにしたJEM-145は、エクスプローラ・モデルがベースだ。このロボシステムは超ハイパフォーマイル・プロイデーズ・ストロボラングをマシンのようにした。

ホバークォーツ・フライング・ビークルが幅広いターン・バリエーションを全うし、アラームを使ってのハイ・メータ・ロワード・ゲームを主催し、ササテ・システム・イン・リッパーズ・プロイデーズ・ストロボラング・システム・のサポート・として、ふたつで働いたものとなっている。

攻撃的なV・シェイプと超ハード・ボグ・プロイデーズ・ストロボラング・のコンビ・は、このロボ・システムの精髄を納め込んでいる。這うような生身のゲーム・のように、ハリアーが「それとそれ」した1本のゲーム・によって自由意志にコントロールされるのだ。チューニングのいいのは、まったく同じでなく、い。変異・は這うのいい、ベスト・チューニング・が得られている。マカニ・ロボ・システムの重要なサウンド・と相まって、超・ハイ・メータ・ロワード・ゲームが奏



EX-95

[illegible]

FV-135

攻撃的なVシェイプと超ハードメカ「プロドローズ・トレモロシステム」のコンビネーションが、このマシンの性格を端的に表わしている。泣かまるで生体神経のようにタフな、ハリがある『それをもった1本のアームによって自由自在にコントロールされるのだ。チューニングの狂いなどは、まったく例になくなくて、完璧に狂はくつかされ、ベストチューニングが得られている。メカがニールビーの重要なサウンドと相まって、超ハードなエレクトロメタルサウンドが爆発する。



EXB-85

ヘビーメタルキッズには見逃せないBASSが、このEXB GYAN HALEN BANDのMichael AnthonyがこのスタイルのEXのBASSポジションは小型軽量なそして、サウンドスペースを一段と広げる、先駆の21Fデジタルフレット、ヘビーな重低音からハードな高音域まで、ストリートからライブに飛び出してくる、キミのヘビーメタルサウンドを確実にサポートしてくれるはずだ。



RRB-80

リーゲンサウンドと呼ばれるほど、個性的なサウンドを確立した400(番)。その個性的なサウンドからボディ形状までパーフェクトに再現したが、このRR80なのだ。

メイプルネックがボディエンドまで通った、スルーネックボディ。ローポジションからハイポジションまでスムーズにプレイできるネック、コレのある明確な音程、スケールの良いバリエーションで低音をあますところなく再現するメイプル単板ボディ。

ヘビーメタルを志すプレイヤーには、もってこいの仕様といえる。

